



は 初・N・E・T

初台リハビリテーション病院

URL <http://www.hatsudai-reha.or.jp>

2004
秋季号

編集・発行/医療法人 輝生会 初台リハビリテーション病院 〒151-0073 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500

平成16年11月1日 (通巻第4号)

特集1 チームマネジャー制とは

初台リハビリテーション病院では、平成16年2月から「チームマネジャー制」を導入しています。「チームマネジャー」とは、どのようなもので、どのような役割を担っているかなどについて紹介したいと思います。

当院は一般的には「リハビリテーション専門病院」と位置づけられていますが、もう少し厳密にみると「回復期リハビリテーション病棟を有した療養型の病院」ということになります。この「回復期リハビリテーション病棟」は平成12年の診療報酬改定で新設されたもので、その施設基準の中で「病棟に専従の医師1名以上、理学療法士（以下PT）2名以上、作業療法士（以下OT）1名以上の常勤配置」が必要とされています。専従スタッフの数

的には問題ありますが、PT・OTの病棟配置が基準化されたことは画期的で、当院の掲げるスローガンの一つである「病棟でのリハビリテーション重視」の姿勢が制度化されたものといえます。

当院ではこの制度をさらに前に進め、入院を担当するPT・OTは全員病棟配置とし、さらに言語聴覚士（以下ST）、ソーシャルワーカー（SW）、薬剤師、管理栄養士も各フロアに配置となっています。この結果、看護・介護34名、PT・OT各12名、ST4名、SW2名、薬剤師・管理栄養士が各1名と総勢で1フロアに66名という大所帯となってしまいます。この規模では病棟看護部長が1人で管理するのは到底不可能な状況といえます。さらに看護部長は看護部の所属になり、従来の組織系統からすると看護師やケアワーカーの上司であり、病棟配置のPT、OT等

の上司としては位置づけられないため指示や連絡系統に不都合が生じてきました。

そこで、よりきめの細かいチームアプローチを実現するために、平成16年2月からチームマネジャー制を導入しました。45～48床の1病棟をA・Bの2チームに分け、それぞれにチームマネジャー1人を配置しています。チームマネジャーは看護・介護、PT、OT、ST、SW等の病棟スタッフのチームワークの要としてリーダーシップを発揮し、病棟業務を円滑に進める大きな役割を担っています。新たな取り組みなのでこれからさらに細かいシステムの見直しを行いながら、進化させていきたいと考えています。

リハケア部長
伊藤隆夫



特集2 初台フロア紹介

2階フロア



①理学療法室



②作業療法室



③水治療室



④待合室



⑤診察室



⑥外来医事課 (カルテ室)

今回は2階のご紹介。

日頃あまり目にしない各室内部の写真を公開！



⑦スタッフ室



⑧検査室



⑨歯科室



⑩言語療法室

秋号ラインナップ!!

- 2P 2階トレーニングマシン紹介
ソーシャルワーカー発
- 3P 納涼祭
ことばの障害のこと
- 4P 連載開始！部署紹介
委員会便り
気になるお店④／あとかぎ

初台リハビリテーション病院

2階トレーニングマシン紹介

当院の2階の窓際には、スポーツジムのもので変わらないトレーニングマシンが並んでいます。このトレーニングマシンは錘（重さ）を細かく設定できたり、乗り降りがしやすいなど障害のある方や高齢者の方でも利用しやすいようにさまざまな工夫がされています。今回は、当院で行なわれているトレーニングマシンを用いての運動を紹介します。

マシンを使ったトレーニングは、長期療養による筋力や体力の衰えを改善したり、麻痺の改善に伴って随意的な運動をさらに拡大することを目的に使用したりします。外来患者さんに対しても、運動不足による筋力や体力を補って、活動的



健康運動実践指導士：早坂

な生活を送っていただくために使用していただいています。

当院にあるマシンを簡単に紹介します。

レッグプレス（図1）屈伸運動により立ち上がり等に必要なたももやでんぶの筋肉を鍛えます。

自転車エルゴメータ（図2）は持久力をつけるために使われ長時間運動をしても疲れにくい体をつくります。

ローイング（図3）はボート漕ぎのように腕を曲げ伸ばして腕を鍛えます。主に肩や背中中の筋肉を鍛え、背中が丸くならないようにしたり、手すりを引っ張る力をつけて寝返りをしやすくする等の効果があります。

その他にもいろいろマシンがありますので、わからないことがありましたらマシンエリア担当の早坂（健康運動実践指導士）に気軽に声をかけて下さい。

理学療法士 岩本英理子



レッグプレス（図1）



自転車エルゴメータ（図2）



ローイング（図3）

ソーシャルワーカー発

介護保険ってなんだろう？

「介護保険」という言葉を耳にされたことがありますか。あるいはすでに利用されているという方もいらっしゃると思います。外来や入院病棟で医師やリハビリスタッフ、そしてソーシャルワーカーなどがよく口にする言葉の一つです。しかし、患者さま・ご家族からは聞いたことはあるけれど内容までは知らないし、よくわからないというお声をいただきます。そこで今回は介護保険の内容について以下に簡単にご紹介します。



介護保険とは介護保険法に基づいて2000年よりスタートした新しい社会保険の一つです（40歳以上の方であれば保険料を徴収されています）。国の推計では2025年には国民の4人に1人が65歳以上の高齢者となるといわれています。そうすると自然とご病気や虚弱となる高齢者の方も増え、介護が必要とな

る方が急速に増加することが予測されます。ひと昔前とは時代も変わってきており、家族がすべての介護を引き受けて生活の援助をすることも難しくなってきました。そこで、介護保険が登場したわけです。

利用できる対象者は原則65歳以上の方と特定疾病（15疾病が規定されています）を持つ40歳以上の方で、「要介護認定」を受けられている方です。利用できるサービスは大きく2つに分類されます。

一つはご自宅で利用するサービスです。例を挙げると、ホームヘルパーや訪問看護、デイサービス（通所介護）やデイケアサービス（通所リハビリ）、福祉用具のレンタルや購入です。

もう一つは施設入所を希望される場合の施設入所サービスです。いずれも利用

料（自己負担）は総額の1割負担です。なお、認定された6段階の要介護度に合わせてサービス利用の上限額が決まっています。サービスの利用に際しては介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談をして利用を開始します。



以上、簡単にご紹介をしましたが、おわかりいただけましたでしょうか。国の社会保障制度は複雑な部分も多く、理解するのに一苦労です。患者さま・ご家族の生活を保障するこれらのサービスを上手に活用して、快適な生活を送れるよう、担当ソーシャルワーカーはじめ当院スタッフがお手伝いをさせていただきます。

何かありましたら外来および入院病棟の担当ソーシャルワーカーへお声掛けください。

ソーシャルワーカー（4階病棟担当） 木島 貴宏

2004年度 納涼祭

今年で3回目を迎えた初台リハビリテーション病院納涼祭を8月22日に無事終えることができました。今年も600名以上の皆様に参加していただき、大盛況となりました。

この納涼祭は、参加することで季節を感じていただき、季節ごとの生活を楽しんでいただくことと、患者さま・ご家族・職員に共通した思い出をつくることを目的としております。

この目的の達成のため納涼祭実行委員会を設置し、多数の職員や患者さまの協力を得て約2ヶ月前より準備してまいりました。この納涼祭も恒例行事となりつつありますが、その中でも新しい趣向を取り入れ皆様に喜んでいただけるよう思案してまいりました。

今年は、ヨーヨー釣りや射的、綿菓子といった縁日には欠かすことのできない

お店をだして、お祭り気分を味わっていただきながらも、盆踊りやフラダンスにおいては皆様に参加していただき、患者さま・ご家族と職員が一体となり当院に関係するすべての人が作り上げた納涼祭となったのではないかと感じております。そして、患者さま・ご家族からも「楽しかった」とのお声をいただき、職員一同ホッと胸を撫で下ろすと同時に大変嬉しく思っております。

しかし、多くのお褒めのお言葉を戴いたと同時に今後参考となる貴重なご意見も戴きました。皆様にはご迷惑をかける部分も多数あったと反省しております。今回の反省点を改善し、そして新たな趣向を取り入れていき、皆様に喜ばれ、愛される納涼祭にしていけるよう今後も職員一同頑張っていきたいと思っております。

納涼祭実行委員 平間 勝
小滝 敏史



盆踊り会場



院長あいさつ



ハワイアン・バー

ことばの障害のこと

私たちは、日々の暮らしの中で、ごく自然にことばを使っています。人と話す、テレビを見る、新聞を読む、手紙を書く…ことばは、お互いの考えや気持ちを伝えあったり、情報を取り入れたりする上で、大切な役割を果たしています。

ところが、病気や事故などで脳に何らかのトラブルが起こると、ことばをうまく使えなくなることがあります。ここでは、そのようなことばの障害の中の「失語症」と「運動障害性構音障害」についてお話します。

<失語症>

失語症は、脳の中のことばの働きに関係する部分のトラブルによっておこります。ことばには「聞く」「話す」「読む」「書く」という4つの側面があります。失語症になると、この4つの側面すべてに多少かれ少なかれ障害をうけます。どの側面が、どの程度影響を受けるのかによって、失語症の症状は異なります。「話す」が障害されると、頭ではわかっているのに、ことばにできず「ほら…あれ…あの…」と詰まってしまうたり、りんごを見て、似ていることば（例えば「みかん」など）や、全く関係のないことば（例えば「デンゴタ」など）と言い間違えてしまうこともあります。「聞く」が障害されると、相手の声は聞こえるけれど、内容がしっかり理解できなくなります。

失語症の方とお話する時には、ゆっくりと短い言葉で話しかけてください。身振りやイラストなどを使ったり、漢字を見せようと、より通じやすくなります。また、ひらがなは難しく50音表はあまり役にたちません。

<運動障害性構音障害>

運動障害性構音障害は、唇、舌、あご、ほほなど発音をするための身体の部分や呼吸機能が、麻痺によって動きづらくなることによっておこります。構音障害になると、ろれつが回らなさを感じたり、うまく発音できずに言葉が不明瞭になります。構音障害の方とお話する時には、筆談や50音を書いた表が役に立つことがあります。

言語聴覚士 渡邊 ユミ

連載 各部署紹介 第2回<3階病棟>

3階病棟を色に例えると虹です。様々な色があり、それぞれ個性を生かしてきれいに調和しています。何人かの3階病棟スタッフをご紹介します。

柏木 潤一：医師

趣味は読書にアマチュア無線（JA1ANG、2級アマチュア無線技士）。専門はリハビリテーション、循環器一般、心臓外科。目標は当院院長石川誠さんです。

澤瀉 昌樹：作業療法士

趣味は生花鑑賞にラグビー。専門はPowerful OT！？

佐藤恵美子：クラーク

趣味は水泳。専門は皆さまが円滑にコミュニケーションをとれるような中継ぎ役。目標は患者さまの心を元気づけられるようになること。

森山 祐司：ケアワーカー

専門は飲み会の幹事や司会。目標は常に笑顔で余裕をもって患者さまをケアし、患者さまの気持ちを汲み取れるようになること。



各々のスタッフが、一人一人の患者さまに対して、同じ目標を持って、専門性を発揮し働いています。

スタッフも患者さまにも笑顔が絶えない病棟にしていきたいです。



委員会便り

今回は生活向上委員会よりバーベキュー大会の模様をお伝えします。



去る8月31日、国営昭和記念公園（西立川）にて職員バーベキュー大会を行いました。

6月に行ったアンケートで一番参加希望が多かったのも、それを受けて企画したのですが27名（ほとんど委員会メンバーと常連参加者でしたが・・・トホホ）の参加となりました。

当日は、日頃の行いが良いせいか？前日までの台風の雨、風が嘘のように晴れ渡りすがすがしい1日、さっそく係りの

若者からセット一式を借り受け女性陣は食材の下準備、男性陣はコンロの組み立てに精を出す。

それにしても女性陣の手際の良い事、野菜を切るのも、とってもスムーズ（そう思っているのは私だけ？）あっという間に準備完了！

乾杯もそこそこ大宴会が始まり、日頃あまり話せないメンバーと終始和やかなムードで親睦を深めた。

午後3時過ぎには解散しましたが、とっても楽しい1日でした！

生活向上委員会 横山 司

近隣のきになるお店

今回の「きになるお店」では、当院1階の理・美容室を紹介します。

「いつでも、どんな時でも、綺麗でいたい。」 スッキリ リフレッシュ！

当理・美容室では、ご希望に添ったカットのみならず、シャンプー、パーマ、毛染め等を心のこもった温かいサービスでご提供しております。お客様のご負担にならぬように、車椅子のままでも気軽にカットできます。また、介護の資格を持ったスタッフがマンツーマンで対応しておりますので、安心してご利用いただけます。



素敵な音楽の流れる店内で、ヘアースタイルを整えながら、リラックスした楽しい時間をお過ごしください。日頃介護なさっているご家族の方もご利用できますので、気楽にお立ち寄りください。

退院後、理・美容室に行けない方には、理・美容スタッフがお宅にお伺いし、ご自宅に居ながら理・美容室感覚のサービスが受けられます。くわしくは理・美容スタッフまたはクラークにお尋ねください。ご来店を心よりお待ちしております。

店主 山崎 和男

営業日 月・火・土曜日
営業時間 午前10時から午後6時迄

予約制です。外来の方は1階受付に、入院中の方は各階クラークに、お声をかけてください。

Vol.4

あとがき

今号から情報誌はどんなスタッフが担当しているか、あとがきで、紹介していきます。

情報誌委員で編集を担当している放射線科の宇田川です。情報誌の編集には2003年12月の創刊号以前から活動していましたが、なかなかうまくまとまらず、やっと創刊号ができた時は、本当にうれしく思いました。

情報誌も初NETとすばらしい名前を頂き、早くも通巻第4号となりました。これからも初台リハビリテーション病院の情報発信の基地としてがんばっていきたくです。また、各スタッフの方には、これからも、様々な原稿依頼があると思いますが、初NETの発展のために、ご協力よろしくお願いします。

放射線科 宇田川 功実